実習終了後２週間以内に実習センターに送付

**ソーシャルワーク実習Ⅱ　巡回指導報告書**

提出日　　2024年　　　月　　　日

　　　　会場　　　　　クラス

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学籍番号 |  | 実習生氏名 |  | 巡回指導教員名 |  |

**※巡回指導日ごとにご記入ください**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実習施設名称 |  | 所在地 |  |
| 巡回指導回数 | 回目 | 巡回指導日時 | 月　　　　日時　　　分　～　　　時　　　分 |
| 実習指導者 |  |
| 指導場所 | □実習先　□その他（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

※実習指導者は●月●日時点で本学に登録している指導者です。

**１．実習の取り組み状況欄に学生のふりかえり表を転記してください（2・4回目の巡回を目安に）。**

**指導の有無欄には、指導を行った項目に〇、なかでも重点指導項目には◎を記入してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 指導項目 | 実習の取り組み状況 | 指導の有無 |
| 1 | 利クライエント等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 2 | クライエント等との援助関係を形成することの意義と方法を理解することができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 3 | 実習施設・機関の経営や管理運営の実際を理解することができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 4 | クライエント等の権利擁護ならびにエンパワメントを含む実践を行い評価することができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 5 | 地域における分野横断的・業種横断的な社会資源について説明し、問題解決への活用や新たな開発を検討することができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 6 | 実習施設・機関が地域社会の中で果たす役割を理解し、地域住民等にはたらきかける | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 7 | ソーシャルワーク実践に求められる技術について、目的、方法、留意点を説明することができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 8 | 多職種連携およびチームアプローチを実践的に理解し実習生として適切な対応をすることができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 9 | 実習施設・機関の規則等について理解し、社会福祉士の倫理に基づいた実践やジレンマの解決を適切に行うことができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 10 | クライエントや地域の状況を理解してその生活上の課題（ニーズ）を把握し、支援計画を作成・実施し評価することができる | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 11 | 謙虚な姿勢での真摯な取り組み | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 12 | 社会経験に基づく豊かな考察の工夫 | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |
| 13 | スーパーバイジーとしての取り組みの工夫 | A ・ B ・ C ・ D ・ NA |  |

※1～10：実習プログラムに対応した10項目、11～13：姿勢・態度に関する3項目

※「実習の取り組み状況」は実習生自己評価表における「取り組み状況」の評価を転記

**２．実習進捗状況(実習生の姿勢や態度も含む)および具体的な指導内容を記述してください。**

**※実習日誌の提出や、実習日程・時間に関する調整を行った際はその旨も記述してください。**

|  |
| --- |
|  |

**スペースが足りない場合は裏面もご活用ください。**